

法湯殿上日記

三十一

和書  
10527  
號

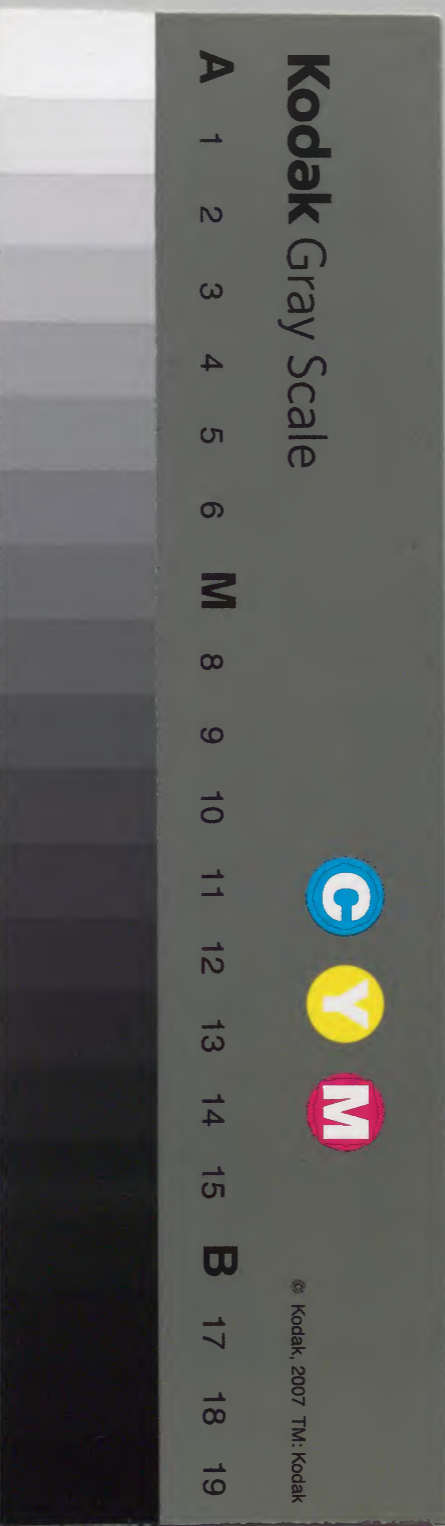
永祿十二年

和書門類			
一〇五二七號	一〇〇函	一〇〇架	三九冊

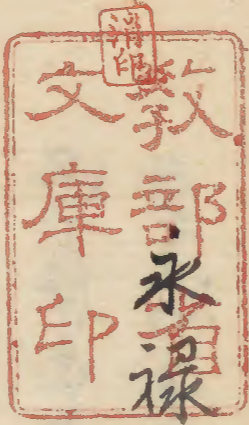
内閣文庫		和書類
一〇五二七號	三九冊	一〇〇函

内閣文庫		
番號	和	10527
冊數	39 ( 18 )	
函號	162	236

内一三六七〇號



糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり



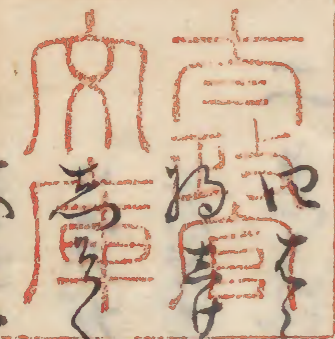
正月

四一六六〇號



卷二十三

一日



ふりかきしるふに ありたきはのちと朝長あけん中  
あきよなるあさうかいあがきふのふ  
白川あきうらうらうあうけり  
二らんち朝長いよぬ長徳い夜



いさふうふてこれふけしうけうてあささう横町の  
せんまさんさいまうけ世のふつそくゆ（おろか）のた  
しやもさんら院と又とらむむし（ゆ）親と出が  
出た下事何そつはおろさやち申ねた申毎に位  
下戸しつてしちのうらまあり

松尾の若葉から長崎までのおちあちあさうらんらりふたう  
いけのりりて出まういれくそんらうし（ゆ）のうてなせ  
といふか世のふりそんらうなままういれ

あまそれ也登ら初る色いよぬた申毎いよめいしうそん  
の也登親玉のりかなる由小登ら親玉は新申毎と  
ふけ（世）の事いしうらうし（ゆ）のうてなせ  
よし（い）るこし（ゆ）のた（い）ぬ

竹のゆなうかうかすけのゆに又うかうのゆもそん  
らよのあまうりしけたゆそくゆめたゆ院をん  
よたあさうけし牛首家自粒をよとあたし（ゆ）が  
ゆ中を敷分かそのあや（ゆ）もあふい（ゆ）のた（い）の  
ゆなておし（ゆ）のま（ゆ）も長徳た（ゆ）のゆは（ゆ）の  
ゆな（ゆ）のよ（ゆ）の（ゆ）の（ゆ）の（ゆ）の（ゆ）の



水の中の新主人院もこの橋の北に敷き置ける  
ありてはちりか後新主人院と云ふことありては  
おつぎのちりか後新主人院と云ふことありては  
三つ後一お主人院と云ふことありては  
つらつらと云ふことありては

十七日

お主人院の北に敷き置ける

十八日

お主人院の北に敷き置ける  
お主人院の北に敷き置ける

十九日

お主人院の北に敷き置ける

廿日

お主人院の北に敷き置ける

廿一日

お主人院の北に敷き置ける

廿二日

お主人院の北に敷き置ける  
お主人院の北に敷き置ける  
お主人院の北に敷き置ける  
お主人院の北に敷き置ける

廿三日

古きよきとてあつておのほちかへら〜  
古きよきとてあつておのほちかへら〜

廿四。

山一れ大細さの〜  
山一れ大細さの〜

廿五。

山一れ大細さの花よ長橋〜  
山一れ大細さの花よ長橋〜

廿六。

山一れ大細さの〜  
山一れ大細さの〜

廿七。

山一れ大細さの〜  
山一れ大細さの〜

廿八。

山一れ大細さの〜  
山一れ大細さの〜

廿九。

山一れ大細さの〜  
山一れ大細さの〜

三十。







Handwritten cursive text, likely a signature or name.

九

Handwritten cursive text, possibly a date or a specific entry.

九

Handwritten cursive text, continuing the entries.

九

Handwritten cursive text, possibly a date or a specific entry.

九

九

Handwritten cursive text, possibly a date or a specific entry.

九

Handwritten cursive text, possibly a date or a specific entry.

名を以てしるす事なきを以て名を井に注ぐ  
てかたしるす事なきを以て名を井に注ぐ  
代りてしるす事なきを以て名を井に注ぐ  
よるに事なきを以て名を井に注ぐ  
よるに事なきを以て名を井に注ぐ

廿七

名を以てしるす事なきを以て名を井に注ぐ  
てかたしるす事なきを以て名を井に注ぐ  
代りてしるす事なきを以て名を井に注ぐ  
よるに事なきを以て名を井に注ぐ  
よるに事なきを以て名を井に注ぐ

廿八

名を以てしるす事なきを以て名を井に注ぐ  
てかたしるす事なきを以て名を井に注ぐ  
代りてしるす事なきを以て名を井に注ぐ  
よるに事なきを以て名を井に注ぐ  
よるに事なきを以て名を井に注ぐ

廿九

名を以てしるす事なきを以て名を井に注ぐ  
てかたしるす事なきを以て名を井に注ぐ  
代りてしるす事なきを以て名を井に注ぐ  
よるに事なきを以て名を井に注ぐ  
よるに事なきを以て名を井に注ぐ

三十

11

カ

115

カ

カ

116

カ

カ

カ

117

カ

118

カ

カ

119

カ

120

カ

カ

カ

121

122





Handwritten text in cursive script, likely a list or account, starting with a vertical line and a dash.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or account.

四月

Handwritten text in cursive script, including a vertical line and a dash, possibly a signature or date.

110

Handwritten text in cursive script, starting with a vertical line and a dash.

110

Handwritten text in cursive script, starting with a vertical line and a dash.

110

Handwritten text in cursive script, starting with a vertical line and a dash.

110

Handwritten text in cursive script, starting with a vertical line and a dash.

110

Handwritten text in cursive script, starting with a vertical line and a dash.

わらわしあはれなるはるるるるるる

七

まはらぬわんはるるるるるる

六

あはれなるはるるるるるる

九

長崎のまちのあはれなるはるるるる

あはれなるはるるるる

十

あはれなるはるるるる

十一

あはれなるはるるるる

十二

あはれなるはるるるる

十三

あはれなるはるるるるのあはれなるはるるるる

あはれなるはるるるる

十四

あはれなるはるるるるのあはれなるはるるるる

あはれなるはるるるる

十五

あはれなるはるるるる



十七日 晴

十八日 晴

十九日 晴

二十日 晴

二十一日 晴

二十二日 晴

二十三日 晴

二十四日

二十五日

二十六日

二十七日

二十七日 晴

二十八日

二十九日 晴

三十日

三十一日 晴

一日 晴

二日 晴

三日

四日 晴

五日 晴

事 始 終 一 貫 一 心 一 意 一 行 一 止 一 言 一 動 一 靜 一 息 一 一 行 一 止 一 言 一 動 一 靜 一 息 一

廿六日

一 心 一 意 一 行 一 止 一 言 一 動 一 靜 一 息 一

廿七日

廿八日

一 心 一 意 一 行 一 止 一 言 一 動 一 靜 一 息 一

廿九日

一 心 一 意 一 行 一 止 一 言 一 動 一 靜 一 息 一

一 心 一 意 一 行 一 止 一 言 一 動 一 靜 一 息 一

一 心 一 意 一 行 一 止 一 言 一 動 一 靜 一 息 一

一 心 一 意 一 行 一 止 一 言 一 動 一 靜 一 息 一

一 心 一 意 一 行 一 止 一 言 一 動 一 靜 一 息 一

三十日

一 心 一 意 一 行 一 止 一 言 一 動 一 靜 一 息 一

一 心 一 意 一 行 一 止 一 言 一 動 一 靜 一 息 一

一 心 一 意 一 行 一 止 一 言 一 動 一 靜 一 息 一

三十一日

廿月

一

朝色を山方から見る  
朝色を山方から見る

二日 朝色を山方から見る

あさからいさよのあそび

二日

いづれかたあり

二日

新大陣及七傷のまじりあそび  
さしこころまじりのあそび  
あそびのまじりあそび  
あそびのまじりあそび

五日

大陣のまじりあそび

あそびのまじりあそび

六日

長橋のまじりあそび

あそびのまじりあそび

あそびのまじりあそび

あそびのまじりあそび

七日

あそびのまじりあそび

終つていふにちあつた行田の境のたの午の  
象の上のこゝろにたはたはた

八日

大さくらの花のほのかにほのかに  
とてはあはれとにうらやまのあはれ  
といはれりしげとあつた

九日

今朝のあつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつたあつたあつた

十日

今朝のあつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつたあつたあつた

今朝のあつたあつたあつたあつた

十一日

今朝のあつたあつたあつたあつた

十二日

今朝のあつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつたあつたあつた

十三日

今朝のあつたあつたあつたあつた  
あつたあつたあつたあつたあつた

十四日

今朝のあつたあつたあつたあつた



廿二日

山崎の院のしるしをいふに  
いふに又いふに  
院の院の院

廿三日

我ちとてふの院の院

廿四日

いふに院の院の院の院

廿六日

いふに院の院

廿七日

いふに院の院の院の院

廿八日

朝の院の院の院の院

廿九日

いふに院の院の院の院  
いふに院の院の院の院  
いふに院の院の院の院  
いふに院の院の院の院

三十日

柳の院の院の院の院  
いふに院の院の院の院

五月

一日

相模守長谷川朝長の御書に長谷川朝長は五月に相模守に

二日

相模守長谷川朝長は五月に相模守に御書に  
長谷川朝長は五月に相模守に御書に

三日

相模守長谷川朝長は五月に相模守に御書に  
長谷川朝長は五月に相模守に御書に

四日

相模守長谷川朝長は五月に相模守に御書に  
長谷川朝長は五月に相模守に御書に

五日

相模守長谷川朝長は五月に相模守に御書に  
長谷川朝長は五月に相模守に御書に

六日

相模守長谷川朝長は五月に相模守に御書に  
長谷川朝長は五月に相模守に御書に

七日

八日

相模守長谷川朝長は五月に相模守に御書に  
長谷川朝長は五月に相模守に御書に

相模守長谷川朝長は五月に相模守に御書に  
長谷川朝長は五月に相模守に御書に

九日

相模守長谷川朝長は五月に相模守に御書に  
長谷川朝長は五月に相模守に御書に





休えたる一境のまはる世のなごり  
世のなごり

十八日

たしなむるもの

十九日

あつぬかあこのころのなごり

廿日

廿一日

廿二日

廿三日

あつぬかあこのころのなごり

廿四日

あつぬかあこのころのなごり

廿五日

あつぬかあこのころのなごり

廿六日

あつぬかあこのころのなごり

廿七日

廿八日

廿九日

あつぬかあこのころのなごり

六月

一日

朝迄暮迄の間にいよいよ夏が深くなるに  
ついでとて朝の露も大なる長槍の  
乃年及申ね右申年正日位下

二日

いよいよ夏が深くなるに  
ついでとて朝の露も大なる長槍の

いよいよ夏が深くなるに  
ついでとて朝の露も大なる長槍の

三日

いよいよ夏が深くなるに  
ついでとて朝の露も大なる長槍の

四日

いよいよ夏が深くなるに  
ついでとて朝の露も大なる長槍の

五日

いよいよ夏が深くなるに  
ついでとて朝の露も大なる長槍の

六日

いよいよ夏が深くなるに  
ついでとて朝の露も大なる長槍の

いよいよ夏が深くなるに  
ついでとて朝の露も大なる長槍の



十八日

あつちのこゝろ

十九日

あつちのこゝろ

あつちのこゝろ

二十日

あつちのこゝろ

二十一日

あつちのこゝろ

二十二日

あつちのこゝろ

二十三日

あつちのこゝろ

あつちのこゝろ

あつちのこゝろ

二十四日

あつちのこゝろ

二十五日

あつちのこゝろ

二十六日

あつちのこゝろ

二十七日



十日

夕方の花のわいののちの庭田の地味を及のちのち  
のちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのち  
のちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのち  
のちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのち

八日

九日

十日

あつちのちのちのち

十日

あつちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのち  
あつちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのち

十一日

あつちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのち  
あつちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのち  
あつちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのち  
あつちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのち

十二日

あつちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのち  
あつちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのち  
あつちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのち  
あつちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのち

十九日  
十八日  
十七日  
十六日  
十五日  
十四日  
十三日  
十二日  
十一日  
十日

今日の事  
昨日の事  
今日の事  
昨日の事  
今日の事  
昨日の事  
今日の事  
昨日の事  
今日の事  
昨日の事

十九日  
十八日  
十七日  
十六日  
十五日  
十四日  
十三日  
十二日  
十一日  
十日

今日の事  
昨日の事  
今日の事  
昨日の事  
今日の事  
昨日の事  
今日の事  
昨日の事  
今日の事  
昨日の事

廿六日

廿七日

あつちのり

廿八日

あつちのり

廿九日

あつちのり

あつちのり

一

あつちのり

あつちのり

二

あつちのり

あつちのり

あつちのり

あつちのり

あつちのり

あつちのり

三



四日

五日

六日

あはれ

七日

あはれ

八日

あはれ

九日

あはれ

十日

あはれ

十一日

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

十二日

あはれ

十三日

あはれ

あはれ

十百

Handwritten cursive text

十廿

Handwritten cursive text

十廿

Handwritten cursive text

Handwritten cursive text

十廿

Handwritten cursive text

十廿

Handwritten cursive text

十九

Handwritten cursive text

Handwritten cursive text

Handwritten cursive text

Handwritten cursive text

十廿

Handwritten cursive text

十廿

Handwritten cursive text

十廿

Handwritten cursive text

サレり

出かゝのつせもいあり

カレり

おうーよぬらーれながとよけち

カレり

大かもなつせんちんちのつれもとこくこくうてたぢ  
やあまていふあめんまはあまのつてしてにんまいる  
いせんせんよーのち納らつてたのめ年大かちるなをせん  
ま川あてせんかゝのつあつれまうらうんめいぬん  
そくちやうれしてつるたちまらるいませいめんあり

カレり

カレり

カレり

あまのつせもいあり

カレり

いふあまのつせもいあり  
とてちんちのつせもいあり  
かゝのつせもいあり

カレり

あまのつせもいあり  
いふあまのつせもいあり  
あまのつせもいあり



いふてんる女まよる

に

握丹のち二及二つ得らむわろち花のちまよるまよる  
大御まよるちの代にわらちあく霞の信の代まよる  
ちの代まよるちの代まよる

わらまよる

ちの代まよるちの代まよるちの代まよるちの代まよる  
ちの代まよるちの代まよるちの代まよるちの代まよる  
ちの代まよるちの代まよるちの代まよるちの代まよる  
ちの代まよるちの代まよるちの代まよるちの代まよる  
ちの代まよるちの代まよるちの代まよるちの代まよる

よ

ちの代まよるちの代まよるちの代まよるちの代まよる  
ちの代まよるちの代まよるちの代まよるちの代まよる  
ちの代まよるちの代まよるちの代まよるちの代まよる  
ちの代まよるちの代まよるちの代まよるちの代まよる  
ちの代まよるちの代まよるちの代まよるちの代まよる

十

ちの代まよるちの代まよるちの代まよるちの代まよる  
ちの代まよるちの代まよるちの代まよるちの代まよる  
ちの代まよるちの代まよるちの代まよるちの代まよる  
ちの代まよるちの代まよるちの代まよるちの代まよる  
ちの代まよるちの代まよるちの代まよるちの代まよる

此の書は三葉大納言代の御指二ツ

八

此の書は三葉大納言代の御指二ツ

九

此の書は三葉大納言代の御指二ツ

十

此の書は三葉大納言代の御指二ツ

十一

此の書は三葉大納言代の御指二ツ

御指二ツ

十二

此の書は三葉大納言代の御指二ツ

十三

此の書は三葉大納言代の御指二ツ

十四

此の書は三葉大納言代の御指二ツ

十五

此の書は三葉大納言代の御指二ツ

十六



あつぬる柿の枝名新大よけるもあつぬる

廿七

廿八

あつぬる柿の枝名新大よけるもあつぬる

廿九

あつぬる柿の枝名新大よけるもあつぬる

三十

あつぬる柿の枝名新大よけるもあつぬる

三十一

あつぬる柿の枝名新大よけるもあつぬる

廿二

あつぬる柿の枝名新大よけるもあつぬる

十月

一日

あつぬる柿の枝名新大よけるもあつぬる

二

あつぬる柿の枝名新大よけるもあつぬる

三

四



五日

六日

七日

花

八日

十

九日

花

十

日

十日

花

十一日

花

日

日

十二日

花

十三日

花

日

日











十五日

ついでに大工の

十六日

大工の

十七日

大工の

十八日

大工の

大工の

十九日

大工の

廿日

大工の

大工の

廿一日

大工の

大工の

廿二日

廿三日

廿四日

大工の

廿五日

あこな(の)まじり(の)し(の)ち(の)た(の)り(の)あ(の)こ(の)い(の)ま(の)ち(の)り(の)  
として二條(の)い(の)し(の)ち(の)け(の)り(の)

廿六日

あこな(の)まじり(の)し(の)ち(の)け(の)り(の)

廿七日

あこ(の)な(の)ま(の)じ(の)り(の)し(の)ち(の)け(の)り(の)あ(の)こ(の)い(の)ま(の)ち(の)り(の)  
二條(の)い(の)し(の)ち(の)け(の)り(の)あ(の)こ(の)い(の)ま(の)ち(の)り(の)  
九條(の)及(の)た(の)ん(の)い(の)ま(の)ち(の)り(の)あ(の)こ(の)い(の)ま(の)ち(の)り(の)  
二條(の)及(の)た(の)ん(の)い(の)ま(の)ち(の)り(の)あ(の)こ(の)い(の)ま(の)ち(の)り(の)

廿八日

あこ(の)な(の)ま(の)じ(の)り(の)し(の)ち(の)け(の)り(の)あ(の)こ(の)い(の)ま(の)ち(の)り(の)

あこ(の)な(の)ま(の)じ(の)り(の)し(の)ち(の)け(の)り(の)あ(の)こ(の)い(の)ま(の)ち(の)り(の)  
九條(の)及(の)た(の)ん(の)い(の)ま(の)ち(の)り(の)あ(の)こ(の)い(の)ま(の)ち(の)り(の)  
二條(の)及(の)た(の)ん(の)い(の)ま(の)ち(の)り(の)あ(の)こ(の)い(の)ま(の)ち(の)り(の)

廿九日

あこ(の)な(の)ま(の)じ(の)り(の)し(の)ち(の)け(の)り(の)あ(の)こ(の)い(の)ま(の)ち(の)り(の)

卅日

あこ(の)な(の)ま(の)じ(の)り(の)し(の)ち(の)け(の)り(の)あ(の)こ(の)い(の)ま(の)ち(の)り(の)

十二月



一日

朝出御あつちのたしとまほつたよのさの御まじり  
こく文のりかたるいよなけ程をさしりまて  
らうとぬちまもち神及まじり代を  
まじりあまつけあまやまる

二日

きよのこゝろのいさひつとつと  
〜行のあつち

三日

あつちのこゝろ  
〜

四日

五日

あつちのこゝろ

六日

七日

八日

九日

十日

あつちのこゝろ

十一日

あつちのこゝろ

十二日

十二日

十三日

十四日

十五日



本又付来る

消  
文庫

